

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	09	0401	地域協議会・地域自治推進委員会運営事業費	
総合計画	分野	地域づくり				
	政策	4-1	地域主体のまちづくり			
	施策	1	地域づくりへの参加促進			
目的	住民意見を市政運営に反映する					
対象	石鳥谷地域協議会					
意図	市の計画等に住民の意見を適切に反映させる					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
○石鳥谷地域協議会の開催 4回（諮問による開催）						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 諮問等による開催	回		計画	2	4	
			実績		4	
② 自主開催（地域協議会）	回		計画	4	2	
			実績	3		
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 答申の回数	回		目標	2	4	
			実績		1	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
平成27年度は、新市建設計画の変更についての諮問に対する答申を行ったほか、石鳥谷地域のまちづくりについて諮問を行い、計画案の審議やアンケート調査の結果の検証、関連施設の現地説明など協議を行ってきたが、花巻市人口ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略や市町合併の検証など各種計画の説明や協議事項も重なったことから、地域課題については継続審議することとなり、成果指標である答申回数は1回となった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	条例により設置している当地域における唯一の公的な諮問機関であり、市が関与することは妥当である。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	地域に密接にかかわる課題について積極的に意見を伺い、出された意見を生かすように努めることで成果の向上が図られることから、会議における積極的な意見の提案と、議論を深めることにより成果の向上が図られる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	委員報酬および事務費は必要最小限の額である。コスト抑制の方策としては、現行どおり事前に資料を送付するが、会議の場での説明を必要最小限にとどめ、議論の時間を多くすることで、1回の開催で答申案をまとめていただくよう工夫する。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	諮問の分野を特定しない委員会であることから、重要な計画案件は全て諮問することができ、受益の機会は均等である。また委員の選任に当たっては、各種団体からの推薦や要綱に基づく公募等により公平性を保っている。
総合評価 …上記評価結果の総括		
平成27年度は、石鳥谷地域が抱える地域課題や合併の検証、各種計画の見直しや策定について審議し、幅広い意見を聴くことができた。		

平成 27 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 石鳥谷総合支所 課名 地域振興課 担当係長 伊藤倫子 内線 209

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	09	0401	地域協議会・地域自治推進委員会運営事業費

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		10	181		171
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	10	181		171

事業期間 ○ 単年度繰返 期間限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]

部重点施策における目標

事業開始の背景・経緯

合併の協定項目として、旧3町に地域協議会、旧花巻市には自治推進委員会を設置し、市の重要な計画の決定や変更について意見を聴くこととされた。

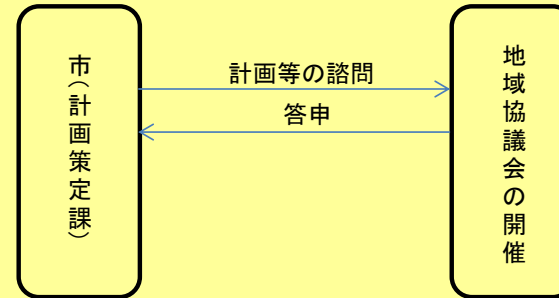
事業概要

○石鳥谷地域協議会の開催 4回（諮問による開催）

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

各種計画策定を行う関係課と連携を図り、会議開催時期の調整を行い、協議に要する時間を十分に確保できるよう努める必要がある。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



事業費

1節 報酬172千円
 地域協議会委員 出席者数：1回目11名、2回目13名、3回目11名、4回目8名のべ出席者 43名×4,000円=172,000円

11節 需用費9千円
 消耗品費 資料用紙等 8,810円

現委員の委員構成 定員15名以内
 (任期：平成26年5月1日～平成28年4月30日)

1	石鳥谷町女性団体連絡協議会副会長	第1号委員 公共的団体から推薦された者
2	花巻市石鳥谷地区民生委員児童委員協議会副会長	
3	花巻商工会議所青年部石鳥谷ブロック会員	
4	花巻農業協同組合青年部石鳥谷支部副支部長	
5	石鳥谷小学校PTA会長	
6	好地地区まちづくり委員会会長	
7	大瀬川活性化会議会長	
8	八日市地区コミュニティ会議会長	
9	八幡まちづくり協議会会長	
10	八重畑コミュニティ協議会会長	
11	新堀地区コミュニティ会議会長	
12	新堀第7行政区長・元石鳥谷総合支所長	第2号委員 学識経験を有する者
13	八幡まちづくり協議会教育文化部会部長	
14	保護司	
15	八重畑小学校学習アドバイザー	